

2017 年度 事業報告書

特定非営利活動法人ひと・まち・あーと

(自) 2017 年 4 月 1 日～(至) 2018 年 3 月 31 日

コミュニティスペースの運営に関する事業

龍野城下町コミュニティ「Toilinks」



本社事務所も兼ねる Toilinks は、地域ニーズに応じた事業を実施。昨年度実施したチャレンジショップ運営からステップアップして、「キッチンつばら」が 2017 年度の 1 年間営業を行った。また去年に引き続き、ネットショップ運営を行う起業した若者に事務所として一室を提供している。12 月～3 月までは NPO 設立に関する中間支援の個別相談会も月に 1 度、事務所に窓口を設け、開催した。

川原町まちや案内所「あがりがまち」の運営

2017 年 1 月より町の案内所として運営を開始し、町の情報を来訪者に案内した。関連会社の緑葉社の物件ツアー出発地点として市外・県外のお客様を迎えている。また月に 1 度、伝統文化を体験するイベントとして茶道や浴衣の着付け、味噌作り体験などのイベントを企画・開催した。2017 年度の訪問者・イベント参加者：延べ 2856 人



旧龍野藝術工房「伊勢屋」「米蔵」の維持管理と蔵市運営

2012 年 12 月末をもって閉館したが、防犯上の問題や景観維持等のため契約を維持している。消防法などの問題で本格活用は難しいが、家賃や火災保険料などの負担が大きいため、再活用に向け準備をした。蔵内を片付け 2018 年 1 月より緑葉社スタッフが「伊勢屋」を活用して「蔵市」(掘り出し物市)の運営を開始し、売上金の一部を「伊勢屋」維持費に充てる予定。

空き家の再活用に向けた企画立案

旧山田邸、加瀬家住宅、中原邸、旧延賀邸などの再活用案を検討するとともに、各物件の片づけ作業等をボランティアスタッフ等によって実施した。

旧中川邸の運営支援



多世代交流拠点として、2017年9月にオープンした。カフェ営業やイベント企画をし、住民とのコミュニティーの輪を広げている。奥の和室をレンタルスペースとして貸出し、伝統文化継承を基本方針とした教室なども募集し開催。施設は緑葉社が管理し、一般社団法人はりまのこが運営している。2階は大学連携拠点として大学生が寝泊まりできるよう水回りや寝具等整備し、大学生の交流を促進する場作りを行った。



コミュニティBAR「ふるさと」の運営支援

地域コミュニティの象徴的な場として関連会社の株式会社緑葉社が運営中。ムカシミライ学校や会合で活用。イベント企画・広報などで運営を支援している。



地域活性化プロジェクトの企画・運営に関する事業

たつの市観光プロモーション事業

昨年に引き続き甲冑装束着付・茶道の体験型プログラムを武魂盛隆士隊と龍野在住の茶道の先生方と連携した体験型プログラムの企画・運営を「たつの観光プロモーション事業」として、たつの市補助事業で展開している。また2016年に開始した寺ヨガ教室も講師が増え週2回運営した。「サムライコードが残る町」というキャッチコピーのもと城下町の暮らしを垣間見れるようなプログラムを複合的に展開する。



えんむす日運営委員会

(宍粟市出会い応援事業／結婚っていいなキャンペーン事業)

「宍粟市出会い応援事業」の受託により、
出会いイベントを2回開催した。10月に国見の森公園
にてヨガを取り入れた交流会と、2月に町歩きやランチ
をして宍粟の魅力を感じながら、参加者同士の交流を深
め、出会いをサポートした。

また、「西播磨県民局結婚っていいなキャンペーン」の受
託により、ママの働き方応援隊（たつの校）と提携し、
西播磨県立高校5校で赤ちゃん先生を実施。



龍野城下町むかしみらい学校

龍野城下町の店舗オーナーと出店や移住を検討している人の
交流と学びの場としてスタートした。現在、住民の記憶を動画
で残す「記憶の動画化」活動も開始し、月1度、旧中川邸にて
開催しており、龍野住民の聞き手も増えてきている。まちづく
り協議会活性化部会の活動として進めている。



わらしべ市運営

2016年3月から開始し、買い物難民対策としての運営は、
地域に定着してきた。すぎな園という福祉施設の利用者も
ボランティアとして加わるほか、多様なボランティア・
出店者によって支えられる活動に成長している。



音楽・文化イベントの企画・運営

[プロアーティストのライブイベント等の開催]

- 秋田慎治（ピアノ演奏） 4月16日 町のイスキアにて開催
- 山下智子（京ことば語り部）「源氏物語」

6月24日 菓子と珈琲 朔 / 25日 聚遠亭御涼所にて開催

- エスコーラ・ダ・ムージカ（阪口裕子/ピアノ演奏）

12月17日 旧中川邸のクリスマス会にて開催

[地域イベントへのアーティスト派遣]

- 芸能集団「野華」（和太鼓） ● クラウンタマ（大道芸）

「川西商店会ふるさと祭り」への派遣

- ブラックボトムブラスバンド（金管バンド）

「オータムフェスティバル」への派遣（皮革祭り・姫新線利用促進同盟会含）



社会貢献を目的とした団体の企画運営及び支援に関する事業

西播磨地域の NPO 法人等への中間支援事業として、ひょうごボランティア基金の事業助成を受け、NPO 法人の設立相談や運営相談を行うとともに、企画事業として、「西播磨ソーシャルビジネス支援者向けセミナー」を開催。また、相生市・たつの市・太子町の経済産業大臣認定創業支援事業計画にそれぞれ参加。

ひょうごボランティアプラザ 中間支援活動事業

〔基本事業〕

西播磨を中心に活動する地域活動団体や NPO 法人を対象として、団体運営に関する支援を行った。NPO 法人の運営相談は 7 法人、一般社団法人が 1 法人、店舗開業が 2 店舗。行政からの紹介による相談が着実に増えており、より緊密な連携が取れてきた。

また、企業や金融機関の CSR/CB 相談も受け付けて、企業と NPO 法人とのマッチングや、運営相談に対応してきた。今年度は 12 社の相談を受け付け、着実に件数を伸ばしているが、まだまだ実績を積み重ねる必要がある。NPO・行政・企業・金融機関・DMO 等と共通のプラットフォームを構築していく準備が整いつつある。

〔企画立案事業〕

SB/CB 支援として、経済産業省認定による創業支援事業計画が相生市、たつの市、太子町で昨年度認定された。その打ち合わせの中で、行政側から「SB/CB についての講習会を開いてほしい」との要望があり、ソーシャルビジネスセミナーを行政、商工会の担当者向けに開催した。

【第一回】

ソーシャルビジネスセミナー「SB/CB の概要、事例紹介」

日程：2017 年 11 月 20 日 参加者：7 名

講師：「NPO 法人しゃらく」 小嶋新氏

「近畿タクシー株式会社」 森崎清登氏

「株式会社 Happy」 首藤義敬氏

【第二回】

ソーシャルビジネスセミナー「SB/CB への資金支援」

日程：2017 年 12 月 12 日 参加者：5 名

講師：「日本政策金融公庫 神戸創業支援センター」 センター長 中塚博和氏

「株式会社せとうちブランドコーポレーション」 取締役 佐々木博士氏





大学連携地域創生拠点事業

(大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業)

兵庫県立大学と連携し、地域創生拠点を旧中川邸に整備。大学生や大学院生が地域に入り、空き家活用、地域創生事例を調査する。今年度は、9月に採択され、その後大学が地域を視察し、調査を開始。

3月26日には、福岡県津屋崎町で活躍されている「暮らしの間屋」の古橋氏をお呼びし、旧中川邸にてパネルディスカッションを実施。

たつの市「市民活動応援セミナー」

- 1, 日 時：2017年12月12日 14時～16時
- 2, 場 所：たつの市はつらつセンター 3階 多目的ホール
- 3, 目 的：市民活動、コミュニティビジネスに携わる人が活動しやすい環境を整える
- 4, 参加者：32名

〔効果・成果〕

- 1, 市民活動への理解の深まりへの回答が、「深まった」10人「やや深まった」10人（20人中）となっており、参加者の市民活動への理解が深まった。
- 2, 参加者の参加理由としては、「市民活動に興味がある」11人となっており、現在は市民活動に関わっていないが、今後、市民活動に携わっていく人たちに情報を提供できたことは大きな成果である。

空き家を活用したまちづくり事業（姫路土木事務所「空き家を活用したまちづくり検討委員会」）

合同会社Roofの佐伯亮太氏と連携し、西徳久地区と鞍居地区の2地域に「空き家を活用勉強会」を各3回実施。地域の空き家の現状や問題について議論を深めてきた。来年度に向けて、地域としてどのような勉強会をしたいのか等を検討し、3カ年計画で進行中である。

各地区へのアドバイザー事業

- 西徳久地区「空き家活用勉強会」（3回）
- 鞍居地区「空き家活用勉強会」（3回）
- 赤松地区「赤松地区地域資源連携推進リサーチ事業」（5回）
- 鷹巣地区「まちづくり会社設立検討委員会」（6回）

一般社団法人はりまのこ運営支援事業

事業所内託児所を複数企業合同で運営したいという市内企業社長からの相談により、プロジェクトがスタートし、認定こども園を運営するまあや学園をマッチングし、2016 年 12 月に設立。2017 年 4 月に太子町に「あすかの保育園」が開所。姫路にて「わたまちキラット保育園」も準備中。



碧川かたを朝ドラの主人公にする会運営支援事業

婦人参政権運動で活躍し、三木露風の母でもある碧川かたを朝ドラの主人公にする会の設立に向けた運営事務局の支援を行った。2017 年 4 月発足。



龍野川西商店会運営支援事業

かねてよりイベント運営等で活動に関わってきたが、役員の高齢化と担い手不足が顕著になり、当法人が事務局の運営サポートを行っている。



龍野オータムフェスティバル実行委員会 in 龍野運営支援事業

実行委員にメンバーを派遣。申込書や出店者の幟等の受け渡しなどを事務所で行った。

市民出資会社緑葉社運営支援事業

市民出資によるまちづくり会社として 2006 年に開業した組織を 2015 年 7 月に当法人代表を中心として継承。城下町の町並み保存にあたってのパートナー企業として各所で連携。